

2014年度日本数学会応用数学研究奨励賞への応募のお願い

日本数学会応用数学研究奨励賞は、応用数学分野研究者の研究を奨励し、分野全体の交流・発展を図ることを目的として、2013年9月に日本数学会において設立されました。本賞は応用数学に関連する分野において優れた業績をあげた39歳以下の若手研究者に、その業績を顕彰し、与えることを目的としています。本号の授賞報告にもある通り、第1回となる2013年度を受賞者は秋山正和氏、Elliott Ginder氏、野口健太氏の3氏でした。

2014年度も多くの方に応用数学研究奨励賞への応募をお願いしたいと考えております。応募の方法、対象者、審査の概要は以下の通りです。

(1) 応募の方法

毎年12月に行われる応用数学科分会主催の研究集会「応用数学合同研究集会」

<http://www-mmc.es.hokudai.ac.jp/CAM/>

に、審査対象者として講演申込をすることが本賞への応募になります。ただし実際に審査対象者となるためには、予稿（4ページ以上）を提出し、本研究集会において登壇し発表する必要があります。本年度の応用数学合同研究集会の募集は、2014年の9月から10月初めに開始される予定です。

(2) 対象者

授賞対象者は受賞年度の4月1日現在において39歳以下の方です。

(3) 審査の概要

審査は上記研究集会における口頭発表および予稿集に記載された予稿により行われます。

(4) 詳細

日本数学会応用数学研究奨励賞のホームページ

<http://mmc01.es.hokudai.ac.jp/am-prize/>

に、本賞の規定、内規、2013年度の日本数学会応用数学研究奨励賞委員会委員などの詳細がありますので、関心のある方はご覧下さい。

対象者の皆様は奮ってご応募ください。

(文責 応用数学科分会 連絡責任評議員 斎藤 明, 日本大学文理学部)